



上手に乗れたよ～（スポーツタウン御殿場キックバイク教室）

CONTENTS

行政視察報告（総務委員会、議会運営委員会）	… 2
広報委員会研修報告	… 3
議会改革特別委員会中間活動報告	… 4
議員研修会	… 5
一般質問（13人）	… 5～11

6月定例会（議案の審議結果一覧）、	
9月定例会の予定	… 12
政務活動費、議長日記、富士岡小学校発表	… 13
小学生議場見学（御殿場南小、印野小、御殿場小）、	
編集後記	… 14

御殿場市議会
Gotemba City Assembly

御殿場市議会

検索



令和8年6月定例会の
一部動画を録画配信します。
※動画閲覧には通信料がかかります



ご意見ご質問は
議会事務局へ
ふれあいボックス



行政視察 報告

総務委員会行政視察報告書

総務委員会

「安全・安心に住みつ
づけられるまちづくり」
の実現に向けて

本年度総務委員会は、喫緊の課題である人口減少及び高齢化社会を踏まえ、「安全・安心に住み続けられるまちづくり」をテーマに考察・検討することとなり、防災強化のため、実際に被災された市町村を視察した。木曽町では、御嶽山噴火を通じて、平時からの情報発信や関係機関との連携体制の構築、来訪者の行動把握、発災時の問い合わせ対応など、多角的な危機管理体制の強化に取り組んでいることを確認した。

佐久市では、「さくステ」防災アプリ等、災害時の情報伝達手段が多層的に整備されていた。ハード・デジタル・ヒューマンと多層的な取り組みと住民自身が「防災」を「自身たちで



浅間山のカルバート
(シェルター)

総務委員長 中島 宏明

守るもの」という当事者意識が醸成されていた。
浅間山に位置する「鬼押出し園」（民間観光施設）では、園内に10基のカルバート（シェルター）を設置し、入園者の緊急待機所であり、来訪者の命を直接守るものとして極めて有効であることを確認した。
白馬村では観光客の帰宅困難者や外国人への観光防災マニュアルの策定を確認した。
視察は、本市においても富士山噴火に対する防災施策に共通するものが多く、今後は、議会報告会等を通じ、市民の皆さまへも情報共有するとともに市の防災計画等へ提言し、「安全・安心に住みつけられるまちづくり」を目指す。

行政視察 報告

議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員会

議会の進むべき道を示
す「未来への羅針盤」

この度横須賀市議会へ市議会実行計画「未来への羅針盤2027」について視察を行なった。

横須賀市議会では「議会改革」と「政策形成機能強化」として、政策検討委員会を設置し、各会派から施策課題を募集して、議会全体で取り組むことがふさわしい課題であるのか、共通度・影響度・緊急度を明確にした実行計画を策定している。また課題特別委員会を設置し、細かく検討している。さらに3カ月ごとに「ホームページ」や「市議会だより」で進捗状況を情報提供している。

考察は議会全体が政策立案に対する意識を強く感じた。特筆すべき点はPDCAサイクルで



横須賀市議会にて

議会運営委員長 田代 耕一

定期的に見直しをしている点である。およそ条例制定は「作っただけ」になりやすいが定期的に検証している。本市議会は委員会で議会報告会を行い、市民の意見をまとめ、最終的に「市長提言」を行っているが、その後の事業への反映確認は実施していないので、今後改善すべきと考える。また本市議会でも、議会改革の取組状況を「ホームページ」や「市議会だより」により情報提供をしていくことが必要と考える。全体的に考えると今「何を優先してやらなければならぬのか」本市議会が向かうべき未来に向けて、「羅針盤」を作成する必要性を強く感じた。



広報委員会研修報告

次号で変える 市議会だより編集 -理解×体感でつかむ勘所-



研修の目的



専門家からの研修を受けることで
紙面に反映するとともに、
広報委員会としての考えや
方向性を共有することを
目的とする。



研修の様子①



研修の様子②

1 御殿場市議会だよりの現在地 Check & Advice (講義・事例)



- 本市議会だよりは、議会報告を重視した構成。
- 市民に「見てもらう」ための紙面としての訴求力や熱量が十分とは言えず、結果として読み手にとって伝えるべき核心が見えにくい。

➡ 市議会だよりは、住民とのコミュニケーションにおけるプッシュ型の情報発信ツール！

2 理解 × 体感でつかむ勘所 (ポイント講義 + 実習)

出席者・オブザーバー全員で見出し案を作成し、発表・投票で評価！

見出し案を
作成
(16文字以内)



「ヒトゴト・ヨソゴト」と
感じてしまう要因を
検討



発表・
投票で評価



☑ 議員と住民との情報量の差を踏まえ、いかに分かりやすく伝え、市民に「自分ごと」として捉えてもらえるかが重要！

☑ 写真や見出しの工夫・改善が、読者の関心を高める鍵になる！



広報委員会・議会事務局・印刷業者の三者で方向性を共有！

広報委員会



議会事務局



印刷業者



三者が同じ方向を
向くことで、より良い
市議会だよりづくりを
進めていきます！



考察

市民との情報量の差を埋めるため、市民の視点に立ち、「自分ごと」として読んでもらえる切り口を意識する。

- ☑ 見出しや写真の工夫で、読者の関心や理解度が大きく変わることを体感できた。
- ☑ 広報委員会・議会事務局・印刷業者が同じ目線で方向性を共有できたことは大きな成果。
- ☑ 今回の学びを次号以降の編集に活かし、分かりやすく、手に取りたくなる市議会だよりを目指す！



市民に伝わり、関心が高まる市議会だよりを
みんなでつくっていきます！



研修概要

日時：令和8年5月8日(金) 13:30~15:30
会場：御殿場市役所東館 第1委員会室
講師：株式会社社会議録センター 矢嶋講師

参加者：広報委員会委員、議会事務局職員、印刷業者社員

・ 議会改革特別委員会 ・

中間 活動報告

地方創生の推進により、市の役割が増大する中、市民から負託された議決機関である市議会には市民に対する説明や理解が一層求められている。本市議会が市民の信頼と負託に応え、市民の立場に立って物事に取り組む姿勢を強化するためにも、議会改革は本市議会に課せられた課題である。本市議会としてこの問題に対し集中的に取り組み、議会機能の充実・強化及び開かれた議会の推進等を図ることを目的として、令和6年3月12日に「御殿場市議会改革特別委員会」を委員7名で設置した。期間は令和6年3月12日から議員



高校生との意見交換会（御殿場高等学校）

の任期終了までとした。これまで、「未来議会プロジェクト」、「議会基本条例」、「申し合わせ事項」などについて調査・検討を重ねてきた。また本委員会では、委員会、委員会協議会、議員懇談会での報告・意見交換を実施するとともに、本市議会が明治大学自治体政策経営研究所とパートナーシップ協定を結んだことに伴い、大学教授による全体研修も受講してきた。

「未来議会プロジェクト」については、議会や行政に関心が薄いとされている若年層や子育て世代の方々に対し、関心を持ってもらい、開かれた議会を目指すとともに、議員のな

り手不足の解消などに向け、事業展開を図っていくことを目的とした。本事業では、議会の体験（模擬議会など）や議員との意見交換を通じ、若年層に議会の役割や仕組みを知っていただき、議会への関心や議員という仕事への興味を持っていただくため、パートナーシップ協定を生かした明治大学ゼミ生との交流や、市民協働課と連携し、市内高校生との交流の場を開催するため、事業内容を精査し、意義のある事業となるよう計画した。

「議会基本条例」については、地方分権の進展によって、首長をチェックし、住民の声を政策に反映させる「議会」の役割も大きく変わる必要が求められている。分権型社会にふさわしい議会の在り方、議会が果たすべき責任と、市民に開かれた運用のルールを明確にするため、議会基本条例の策定の必要性を考える時期にきている。事業としてはこれまで、本市議会は議会改革を推進し、各種の取り組みを実施してきた。過去の議会改革特別委員会では、「議会基本条例」をあえて策定しなくても議会改革ができるとの認識で結論を出した経緯があるが、議会基本条例で必須事項となっている議会改革



議会基本条例を学ぶ（神奈川県寒川町）

の評価、検証、見直しについては実践されていない。現在でも、議会は「何をしているのか見えにくい」「市民の声が届いていない」という厳しいご批判をいただくことがある。これらを猛省し、検討を行ってきた。基本条例の必要性について議論し、特別委員会の中では基本条例を制定する方向で意見が統一された。議員が共通認識し、全会一致が望ましいため、会派の意見を取りまとめ、議員懇談会を開催した。

時代の変化や多様化する市民ニーズに迅速に対応するためには、議会自体の絶え間ない刷新が不可欠である。「身近で開かれた議会」「議会の在るべき姿」の実現に向け、今後も真摯な議論を重ねていく。

議会改革特別委員長

勝間田 博文

防災出前講座

6月の「土砂災害防止月間」に合わせ、全議員を対象とした研修を行った。市危機管理課の防災指導員である植田宜孝氏を講師に迎え、「新たな防災気象情報も踏まえた土砂災害に対する心構え」をテーマにご講演いただいた。

研修では、5月29日から運用が変更となった「新たな防災気象情報」についての解説をはじめ、令和3年7月に発生した熱海市伊豆山土石流災害の事例をもとに、緊迫した状況下での避難誘導や心構えについて深く学んだ。土石流災害は、本市にとっても起こりうる災害であり、他人ごととは言えない。

過去の災害、そして、その対応の経験から学ぶことは本市に予想される災害に備えるとともに、防災の意識を向上する上で大きな助けとなる。意義のある研修であった。

新しい防災気象情報（令和8年5月下旬から運用開始予定） 国土交通省

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険情報を新設します。**
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称				
河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	（警戒レベルごとの）住民がとるべき行動
警戒レベル5相当 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険。直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！＞				
警戒レベル4相当 氾濫注意警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当 氾濫注意警報	レベル3 大雨注意警報	レベル3 土砂災害注意警報	レベル3 高潮注意警報	避難に時間が必要な人は早めに避難。避難の準備を
警戒レベル2 氾濫注意警報	レベル2 大雨注意警報	レベル2 土砂災害注意警報	レベル2 高潮注意警報	避難行動を確立（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1 氾濫注意警報	早期注意情報			災害への心構えを高める

新しい防災気象情報（国土交通省）



植田講師の引き込まれる講義

一般質問

ここで紹介している質問・答弁は、質問議員の責任でそれぞれの内容を要約したものです。

一般質問



1 17年ぶりの社会増人口戦略を問う
2 生成AIで変わる市役所改革

勝間田 幹也 至誠

人口減少が進む中、若年層の流出や地域活力の維持を踏まえ、今後の人口戦略を問う。

問1 若年層の転出超過をどのように分析しているのか。

答 進学や就職による転出が多い一方、Uターン就職など一定の流入もあると分析している。

問 人口減少対策の成果をどう評価しているのか。

答 自然減は続いているものの、令和7年度は転入が転出を152人上回り、17年ぶりに社会増へ転じた。移住・定住施策などの効果が表れたものと認識しており、今後も地域と連携し人口減少対策を進めていく。

人口減少社会における持続可能な行政運営について、生成AI活用と業務改革の観点から問う。

問2 生成AIをどのように活用しているのか。

答 行政文書作成や会議録要約、アイデア出しなどに活用しており、約3割の職員が利用している。

問 生成AI活用による今後の行政運営の方向性は。

答 AIができることはAIに任せ、職員は市民対応や政策立案など、人にしかできない業務へ注力し、市民サービス向上と業務効率化につなげていく。持続可能な行政運営を目指す。



生成AIによる御殿場市のイメージ図



各議員の写真横にある二次元コードから一般質問の録画映像にアクセスできます。※動画の再生には別途通信料がかかります。

一般質問



録画映像
(YouTube)



森 順 じゅん

無会派
参政党

みんなで
国歌・市歌を歌いたい！

問 子どもたちが社会の一員として成長する上で、国旗・国歌に触れる教育的意義について

答 国旗・国歌は歴史・文化を象徴するものとして、子どもたちに郷土や日本への関心と広い視野で社会を捉える力を育む。また、式典での掲揚・斉唱は式の厳粛さを高め、人生の節目を意識する大切な機会となる。さらに、他国の文化を尊重する態度にもつながり、国際社会での共生の礎ともなる。

問 就学前から国歌に親しむ取り組みの検討について

答 就学前から小学校段階にかけての連続性ある取り組みは、子どもたちが社会の一員としての自覚を育む上で重要である。幼児期における音楽や歌への親しみは集団としての一体感を育み、小学校での国歌斉唱へと自然につながる基盤となるものである。幼稚園・保育所・こども園と小学校

との連携を深め、発達段階に応じた形で子どもたちが国歌に自然に親しめるよう取り組みを推進する。

問 市歌の無線放送での活用と学校生活全般の中で市歌に触れる機会を意識的に設ける考えについて

答 市制施行日に加え、月初めの放送など、日常的に市歌に親しむ機会の拡充を検討する。また、学校の授業や行事などで意図的・計画的に取り上げる機会を検討するとともに、市民活動団体と連携した取り組みを継続する。



入学式で新入生も一緒に歌おう！

一般質問



録画映像
(YouTube)



勝又 正人 まさひと

市民21

なぜ今、
地域日本語教室なのか

問 多文化共生社会の実現の観点から、課題を伺う。

答 交流・多文化理解に関する施策については、外国人住民が「支援を受ける対象」とどまるのではなく「地域社会の担い手」となるような視点からの取り組みが必要であり、市民と外国人住民が互いに交流し、文化や価値観を共有できる機会を増やす施策を充実させることが課題である。

問 今後の長期的な施策としての取り組みについて伺う。

答 検討している施策として、継続的な学習意欲を維持するための、ステップアップ学習プログラムの導入がある。次に「地域活動体験プログラム」の創設である。このプログラムは、国際交流協会や地域の祭りやイベント、ボランティア活動などに学習者が参加し、サポーターや地域住民と交流する機会を提供する取り組みである。

問 外国人住民と地域住民がともに社会の担い手として参画し、支え合える関係構築のための政策について伺う。

答 多文化共生社会への道のりに近道はない。誰もが地域の一員となる社会の実現には、お互いを知り、相互に顔の見える関係を築いていくことが大切である。「地域日本語教室」は、在住外国人との共生を進める入り口として効果的な事業の一つと考える。教室が地域住民を巻き込んで地域全体に広がり、自然な形で共生が浸透していくことを望んでいる。



地域日本語教室の試行実施の様子

一般質問



録画映像
(YouTube)



芹澤

勝徳

新風
ごてんば

御殿場市の未来へ向けた 土地利用と道路整備

問 地区計画制度により可能となる土地利用について

答 住宅、日用品店舗、飲食店、工場や倉庫など、地域特性に応じた土地利用が可能になる。富士見原地区のほか、玉穂支所周辺や国道469号沿道菜蕨沢周辺エリアでも相談が進んでいる。

問 富士見原地区の地区計画の内容について

答 29区画の宅地分譲を行う計画で、既存住宅地との調和や住民交流に配慮した配置としている。令和8年夏頃の工事着手を予定し、人口減少対策や地域活性化への効果が期待される。

問 玉穂支所周辺地区計画の進捗と市の支援について

答 玉穂支所周辺では、地域コミュニティの維持を目的とした宅地分譲の相談が進められている。現在、地域住民による検討部会が地権者アンケートや勉強会

を実施し、市も助言や説明会への参加を通じて支援していく。

問 国道469号沿道菜蕨沢周辺エリアの土地利用計画の進捗について

答 菜蕨沢周辺エリアでは、スーパーマーケットや飲食店、物販施設、公園などの整備に向けた検討が進められている。市では関係機関や事業者との協議を重ね、地域の実情を踏まえた計画となるよう支援していく。また、車両出入口の位置についても国との協議を進めている。



御殿場の未来予想図2126

(イメージ図)

一般質問



録画映像
(YouTube)



後藤

真弥

新風
ごてんば

人口の奪い合いを脱する 新たな移住・定住施策！

問 移住・定住施策の現状について

答 本市は、移住・定住サイト「ゆったり御殿場」を開設し、先輩移住者の体験談を掲載している。令和7年度には、移住定住相談総合案内窓口を新設し、移住希望者のニーズに応じた幅広い情報提供を行っている。さらに令和8年度は、ガイドが同行する移住体験ツアー（日帰り／泊2日）を新たに実施し、参加者に本市の魅力や特徴を伝え、御殿場暮らしの理解を深める取り組みを行っている。

問 移住・定住施策の広域化について

答 本市は、近隣市町の間で人口を奪い合うのではなく、地域全体で移住を呼び込むことが重要と考えている。令和8年度は、2市1町合同の企業ガイダンスを予定している。人材確保・定着による地域活性化につなげていく。

問 移住・定住施策の今後について

答 移住・定住の動機は、社会情勢や個人の価値観の変化とともに多様化している。金銭的インセンティブではなく、富士山の麓の豊かな自然・利便性が高い生活環境・若者に魅力的なまちづくりなど、地域の質的な魅力を高めていくことが重要と考える。市民一人一人が郷土への愛着や誇りを持ち、ウェルビーイングの向上を実感できる地域社会を構築するため、近隣自治体と連携しながら、移住・定住施策を進めていく。



富士山の水で育ち、御殿場の緑で遊ぶ。この贅沢がこれからの日常。

※1 ウェルビーイング…心や体・生活が満たされ、幸福を実感できる状態のこと。



各議員の写真横にある二次元コードから一般質問の録画映像にアクセスできます。※動画の再生には別途通信料がかかります。

一般質問



録画映像
(YouTube)



池谷 晴一 無会派

富士フェニックス短大
跡地の有効利用は

市などが助成して市有地などに開校し、その後廃校となった「富士フェニックス短大」跡地の有効な土地利用施策について伺う。

廃校に至った要因などは。

バブル崩壊後の不況や、4年制大学志向の高まりなどによる。

短大廃校後における短大設置者との協議は。

2市3町と学校法人で、施設利用検討委員会及び協議会を組織し、教育施設としての存続などに向けた協議をした。

市と賃貸借契約している跡地の現在の利用状況は。

「御殿場キャンパス」として、教育・産業振興などの地域活性化を目的に、市のPRや教育活動、研究開発や各種実証実験などに有効活用されている。



御殿場キャンパス

跡地の市計画や各種法令規制などとの整合については、市総合計画などに整合し、都市計画法などの法令の規制に適合した土地利用を誘導する。

市の発展に資する有効な土地利用施策は。

跡地周辺には、馬術・スポーツセンターなどの施設が多くあり、交通アクセスも良い。グローバル教育と交流を創出する場としても素晴らしい土地であり、戦略的に検討を進めていく。

一般質問



録画映像
(YouTube)



横山 大 至誠

アスリートの夢を支える
最強のまちへ

スポーツ賞賜金制度の現状と、より実態に即した制度とするには。

本市のスポーツ賞賜金制度は、選手や監督・コーチの栄誉をたたえ、挑戦への意欲向上を図る制度として県内でも手厚い内容となっている。今後は、競技の多様化やスポーツ環境の変化を踏まえ、対象者や選定基準について実態に即した制度となるよう研究・検討していく。

選手側から情報発信しやすい新たな取り組みは。

今年度新たに「ごてんぱの未来アスリート応援企画」と題し、最高峰の舞台を目指している高校生以上の選手を「スポーツタウン御殿場」のホームページで広く紹介する企画を行っていく。これにより、選手自らの思いや、競技の魅力、世界大会出場などへ向けた意気込みを、市民の皆さまに直接届ける機会を設けることに



ごてんぱの未来アスリート応援チラシ

加え、「日頃から体を動かすことの実践」や「目標を持つこと」へのきっかけづくりを行っていく。

アスリートと地域企業をつなぐためには。

市ホームページにて、「ごてんぱの未来アスリート応援企画」から問い合わせのあった市内企業に対し、登録選手の活動情報やニーズを案内するなど、「スポーツタウン御殿場」が企業と選手をつなぐ役割を担えるよう、運用のあり方を検討していく。

一般質問



録画映像
(YouTube)



永井

誠一

改新

高齢者の暮らしを支える 移動支援買物支援づくり

問 現在の高齢者への移動支援、買物支援の事業について

答 「高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業」及び「移動サービス創出支援事業」があり、「高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業」はタクシーやバスの乗車助成として、令和7年度までは最大1万4400円を助成し、今年度より2万円に増額した。「移動支援サービス創出事業」は社会福祉協議会への委託事業で、市からは、移動支援用の車両1台と、連絡調整用の携帯電話2台を貸し出し移動支援サービス体制を支援する。現在、住民主体の移動支援事業は12団体ある。

約9割がタクシー利用で、共にドア・ツー・ドアによる移動支援を望んでいる。

問 運転手不足やボランティアの高齢化への対応について

答 新たな担い手の養成のため国土交通大臣認定の「福祉車両運転者講習会」を実施している。その他「福祉有償運送運転者講習」や「セダン等運転者講習」を実施している。事故などのリスクに備えて、1日自動車保険、ボランティア活動保険、送迎サービス補償などの保険に加入している。

問 移動支援買物支援利用者のニーズの傾向について

答 78・8%が通院、62・5%が買物、次いでサロンなどの地域活動への参加である。また、「高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業」の助成券の利用は



印野地区を回る買物支援車

一般質問



録画映像
(YouTube)



中島

宏明

至誠

市民に寄り添う「ウェルビーイング」向上！

問 本市のウェルビーイングの「独自性（特性）」とは。

答 世界遺産富士山の豊かな自然と恵みの中で、地域への誇りや郷土愛に育まれ、心温かく情のある、市民が困ったときには助け合い、生きがいと幸せを感じられる姿こそが御殿場市ならではのウェルビーイングと考える。

問 市長が思い描く御殿場市のウェルビーイング向上とは。

答 御殿場らしさを生かし、未来につなげる施策とともに、「真の子育て支援日本一のまち」を目指す取り組みや、市の将来を担う若者の人材育成、郷土の発展に貢献してこられた高齢者をはじめ、誰一人取り残さないための福祉など、市民の暮らしに寄り添いウェルビーイングを高めていくことで、「情のある御殿場」「御殿場らしいひとづくり・まちづくり」となる御殿場の発展につなげていく。

問 各種施策・事業への「具体的な反映」とは。

答 「第五次御殿場市総合計画前期基本計画」に掲げられた「47政策・208施策」はさまざまな視点からウェルビーイングの向上を目指す。特に本市の特色である「富士山」を活かした施策は、「呼び水」としての役割を果たし、地域経済の発展、教育・文化の振興など、暮らしの充実を図る。また、「健康づくりの促進」「安心できる高齢者の福祉の充実」「支え合う地域福祉の構築」などの政策・施策を挙げている。



御殿場市のウェルビーイング
(イメージ図)

※1 ウェルビーイング…心や体・生活が満たされ、幸福を実感できる状態のこと。



各議員の写真横にある二次元コードから一般質問の録画映像にアクセスできます。※動画の再生には別途通信料がかかります。

一般質問



録画映像
(YouTube)



阿久根 真一

改新

未来の御殿場市を担う
市職員を育てよう

問 近年の新規採用の応募状況と採用決定後の辞退率は、

答 直近3年間の応募倍率の平均は一般事務が5.0倍、土木技師や保育士、保健師などの専門職が2.2倍程度。辞退率の平均は一般事務が30・1%、専門職が6・8%程度である。

問 本市の採用試験で特に重要視している事項は。

答 試験対策が万全な人材ではなく、「御殿場市の未来を自ら描き、地域課題の解決に主体的に取り組む熱意を持った人材の獲得」を最重要視している。そして何よりも「御殿場市への熱い思い」を多角的に評価する人物重視の選考を徹底している。

問 市職員のエンゲージメントに対する今後の方針は。

答 今後の方針として、次の3つの柱を中心に推進していく。1つ目は、頑張った職員が正

当に報われ、自らの成長を実感できる人事評価と処遇への連動を適切に実施し、挑戦を後押しする人事制度の推進。2つ目は、心理的安全性が高く、上司や同僚に相談しやすい風通しの良い職場文化の醸成。3つ目は、DXを原動力とした徹底的な業務効率化を進め、時間外勤務の削減や、柔軟な働き方を実践できる職場環境の整備。これらを三位一体で強力に推進し進め「御殿場市役所で働きたい」「ここで市民のために力を尽くしたい」と職員から選ばれ続ける組織づくりに取り組んでいく。



試験の点数よりも人物重視へ

※1 エンゲージメント…組織への愛着・共感・信頼そして自発的に貢献したいと思う気持ちの度合い。

一般質問



録画映像
(YouTube)



高木 理文

無会派

日本共産党

1 長距離ミサイル配備に
住民からは不安の声
2 ロケット砲射撃訓練は
なぜ再開されたのか

問1 今回の配備計画は1967年の「ミサイル持ち込まない」の合意に反していないか。

答 配備した場所で運用するのはなく、演習場内において展開訓練など射撃を伴わない訓練を実施する予定であり、合意事項に反するものではないと認識している。

問 ミサイル配備計画の内容は市として納得されたのか。

答 国から「我が国が、現在、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している」ことに加え、「25式高速滑空弾」、「25式地对艦誘導弾」などの配備計画について説明があり、致し方ないものと判断した。

問2 なぜロケット砲の射撃訓練再開を認めたのか。

答 地域住民の生活に直結する極めて重要な問題のため、直接防衛大臣に見解や所見を求め



衝撃波が鳴り響くロケット砲(HIMARS)射撃訓練

た。大臣の回答を受けて、地元権利者及び行政において、慎重に協議した結果、苦渋の決断をせざるを得ず、国が全責任を負うことは当然であり、地元住民などへの影響や負担を最小限とするよう、7項目の条件を付すこととした。

問 市民の安全・安心を担保する市長の対応は。

答 使用協定を逸脱することなく、市民の生命・財産を最優先で守るべく、市長として、あらゆる機会を通じて全力で国との対応にあたる。

一般質問



録画映像
(YouTube)



神野 義孝
新風
ごてんば

県立高校の環境充実と御殿場駅周辺を若者の街へ

問 県教育委員会は本年3月、北駿地区の県立高校を統合し、新設校の開校を令和13年度と示した。御殿場南高校は工事のため来年8月以降御殿場高校に仮移転する。生徒、保護者、地域などへ丁寧な意見聴取と説明会開催が必要である。

答 令和13年度以降の御殿場高校活用は本市の対応は。地域の意見を踏まえ、地域の拠点としての活用や、本市の活性化に資する施設としての可能性も検討しつつ、県への要望や協議・調整を進める。

問 学校・生徒・保護者へ整備スケジュールなどの説明は。

答 統合校を契機に御殿場駅周辺の再開発は。まちなか拠点事業において、若者がまちなかに立ち寄り、学び、交流し、地域と関わる環境づくりを進めていく。

問 統合校を契機に御殿場駅周辺の再開発は。

答 まちなか拠点事業において、若者がまちなかに立ち寄り、学び、交流し、地域と関わる環境づくりを進めていく。

問 生徒の通学環境の本市への影響と対応は。

答 登下校時の通学路の安全性や周辺地域の円滑な交通の確保への影響が想定されるため、県への働きかけとともに、市として可能な支援策を検討していく。



仮移転先が予定される御殿場高校

一般質問



録画映像
(YouTube)



勝間田 博文
公明党

自主防災組織の強化と地域の安心安全の向上

問 自主防災組織における防災士の役割について伺う。

答 防災士とは災害から自分や地域を守るための知識、技能を学び「自助・共助・協働」を実践する防災リーダーで、地域の防災力を高め防災上の役割を担い、幅広く活動する人たちである。平時・災害時を通じて地域住民を巻き込み「自ら動く、そして周りを動かす人」として地域防災力の向上のため防災訓練などの場を活用し自主防災会との連携強化を図っていくことが重要な役割である。

問 自主防災組織における防災士の役割について伺う。

答 女性や要配慮者に必要な支援は時代とともに変化していく。そこで今年度、消防団の女性団員に対し「避難所生活において、どんな問題や不安があるか」や「どんなものが必需品だと思うか」など災害時に求める支援や物資についての意見聴取を行う。頂いたご意見は、地域防災計画や避難所運営マニュアルの改定などに反映していく。今後も防災会議や計画策定、訓練などで女性の意見を広く伺い、反映していく。そして、誰一人取り残さない防災体制を構築していく。

問 自主防災組織における女性目線導入について伺う。

答 災害時には平時における社会の課題が顕在化するとされている。これは女性目線や要配慮者の意思や意見を取り入れることが不足していたからであり、平時からこれらを取り入れることで災害時に起こる課題にあらかじめ対応することが可能である。また、

問 自主防災組織における女性目線導入について伺う。

答 女性や要配慮者に必要な支援は時代とともに変化していく。そこで今年度、消防団の女性団員に対し「避難所生活において、どんな問題や不安があるか」や「どんなものが必需品だと思うか」など災害時に求める支援や物資についての意見聴取を行う。頂いたご意見は、地域防災計画や避難所運営マニュアルの改定などに反映していく。今後も防災会議や計画策定、訓練などで女性の意見を広く伺い、反映していく。そして、誰一人取り残さない防災体制を構築していく。



R7モデル区訓練（保土沢区）





議案書等資料についてはホームページに掲載しています

6月

定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧

全会一致で可決等された議案など	
専決処分の承認	令和7年度御殿場市一般会計補正予算（第9号）について
	御殿場市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
	令和8年度御殿場市一般会計補正予算（第1号）について
予算	令和8年度御殿場市一般会計補正予算（第2号）について
条例	御殿場市新たな観光振興財源検討委員会設置条例制定について
	御殿場小山広域都市計画富士見原地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例制定について
	御殿場市富士見原住宅団地污水处理施設分担金徴収条例制定について
	御殿場市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市印鑑条例の一部を改正する条例制定について
その他	字の区域の変更について
	市道路線の認定について
	御殿場市消防団小型動力ポンプ付積載車の取得について
報告	繰越明許費繰越計算書について（令和7年度御殿場市一般会計予算）
	事故繰越し繰越計算書について（令和7年度御殿場市一般会計予算）
	予算繰越し繰越計算書について（令和7年度御殿場市公共下水道事業会計予算）
	御殿場市土地開発公社の経営状況について
	専決処分の報告について（和解について）

9月

定例会の予定

9/7～10/8
〈32日間〉

時間はいずれも
午前10時～

9/7 (月)	提案理由説明、議案等審議
8 (火)	決算説明
9 (水)	決算説明
15 (火)	一般質問
16 (水)	一般質問
17 (木)	一般質問
24 (木)	決算質疑
25 (金)	決算質疑
10/8 (木)	付託・追加議案等審議

いずれの日も傍聴することができます。

当日、市役所東館3階の議会事務局で受け付けをしております。

傍聴託児サービスも実施しておりますので、ご利用の場合は、傍聴希望日7日前までにお申し込みください。

視察報告

研修会報告

中間活動報告

議員研修会

一般質問

定例会

政務活動費の報告
議長日記・富士岡小学校発表



消防団春季演習にて激励

議長日記

各種団体の総会や式典などへお招きいただき、多くの皆さまと意見交換や交流の機会をいただけますこと大変うれしく存じます。今後ともお気軽にお声がけいただければ幸いです。市民の皆さまに寄り添う議会を目指し、皆さまの声を傾けてまいります。今夏は7月19日に新図書館、8月8日に木のおもちゃ美術館が開館します。市民の皆さまにとって学びと交流の拠点として長く親しまれることを願っております。

第75代 御殿場市議会議長

川上 秀範

令和7年度政務活動費の報告

政務活動費は、議員の調査研究活動などのために交付する費用で、本市議会は1人当たり年額20万円となっており、残額は市へ返還されます。

政務活動費交付金				
会派名等／所属人数	交付額 (円)	支出額 (円)	残額 (円)	支出率 (%)
公明党／2人	400,000	400,000	-	100.0
改進黨／4人	800,578	743,490	57,088	92.9
至誠／5人	1,000,479	792,203	208,276	79.2
市民21／2人	400,459	226,704	173,755	56.6
新風 ごてんば／3人	600,595	477,975	122,620	79.6
辻川 公子	200,199	172,719	27,480	86.3
高木 理文	200,280	198,300	1,980	99.0
勝間田幹也	200,084	200,080	4	100.0
池谷 晴一	200,114	200,114	-	100.0
森 順	200,229	197,716	2,513	98.7
市への返還額合計 593,716円 ※交付額に利子を含む。				

政策アイデアを市議会に！

富士岡小6年生が

富士岡小学校6年生（3クラス）の児童が、授業の一環として御殿場市の政策や予算、法令について学び、「御殿場市をもっと良くするには、どこに予算を使うとよいか」をテーマに探究する中で、「自分たちの考えを議員に伝えたい！」という声が挙がり、今回の発表が実現しました。

児童たちは他市町の取り組みも調べながら、その理由や根拠を交え、自分たちの考えを元気に分かりやすく発表し、その発想は小学生とは思えないほど工夫にあふれ、未来の御殿場を真剣に考える姿勢が伝わり、私たち議員にとっても多くの気づきと学びを得る貴重な時間となりました。



グラフを使ったわかりやすい説明



5人の見事な連携プレー



各政党の個性あふれるポスター





御殿場南小学校、
印野小学校、御殿場小学校
の皆さんが議場見学に
来てくれました。

御殿場南小学校の皆さん



御殿場小学校の皆さん



印野小学校の皆さん



御殿場市議会広報委員会

〈委員長〉横山 大
〈副委員長〉小林 恵美子
高木 理文／森 順
永井 誠一／後藤 真弥
小林 昌美／辻川 公子
池谷 晴一／林 義浩



広報委員 林 義浩

この市議会だよりは広報委員会10人で編集しています。どうすれば市民の皆さまがもっと議会に関心を持ち、市議会だよりをめぐりたくなるのか？ 私たちは日々活発な議論を重ねています。皆さまにより親しみやすく、深掘りして読んでいただくよう、これまでの市議会だよりを少しずつ変えていく予定です。今後は紙面を飾る写真など、市民の皆さまにご協力いただくことがあろうかと存じます。新しく生まれ変わる市議会だよりをどうぞお楽しみに。お近くの議員へ、どんどんご意見を頂ければ幸いです。皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

編集後記

